

# II. 創意と工夫を活かした地域づくり(地域政策の展開)

## 1 「連携地域別政策展開方針」の推進と地域の意見等の反映

### (1) 「連携地域別政策展開方針」の推進

「新・北海道総合計画」に基づき、地域の特性や特色に応じ、地域に根ざした政策を展開するため、市町村や地域の関係者の参画を得ながら、総合計画に示す6つの連携地域ごとに「連携地域別政策展開方針」を策定し、地域のめざす姿の実現に向けて、重点的に進める広域的・戦略的な取組である「地域重点プロジェクト」を、地域の多様な主体と連携しながら着実に推進していきます。

#### 〔連携地域別政策展開方針の概要〕

**■連携地域別政策展開方針策定の趣旨**

- 「新・北海道総合計画」を推進する手立ての一つとして、また、北海道地域振興条例に基づく「地域計画」として、地域の特性や特色に応じて地域に根ざした政策を展開するため、6つの連携地域ごとに市町村や民間の方々などの参画を得て策定。(H20策定)
- 平成25年度からは、社会経済情勢の変化等を踏まえて必要な見直しを行った、新たな方針を策定し推進しているところ(H25.3月策定)。

**■期間** 平成25年度から5年程度

**■特定分野別計画等との連携**

- 地域においては、産業、保健・医療・福祉、環境などの分野ごとの政策を推進する特定分野別計画と連携地域別政策展開方針とが相まって地域に根ざした政策を展開

**■地域の現状と課題**  
連携地域全体や各地域における現状・課題を整理

**■地域のめざす姿**  
今後の10年程度を展望し、地域住民と行政が一体となって、実現をめざしていく地域の姿。

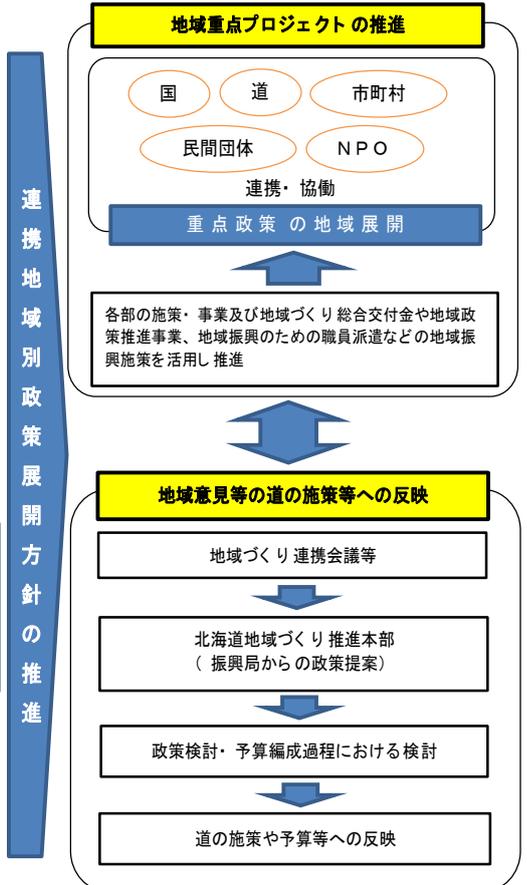
H25からの新方針で見直し・再構築(社会経済情勢の変化等を踏まえた見直し)

**■主な施策の展開方向(5年程度)**  
産業、暮らし、社会資本など、地域の振興に係る主な施策の展開方向

**■地域重点プロジェクト**  
地域のめざす姿の実現に向けて、多様な主体が連携・協力し、重点的に進める広域的・戦略的な取組

◆地域づくり連携会議等の開催  
市町村や地域の関係者の参画を得て、振興局と開発建設部が共同で、振興局所管区域ごとに「地域づくり連携会議」を設置し、地域づくりの方向について検討

◆ラウンドテーブルミーティングの実施  
振興局長が市町村長や地域のキーパーソン等と意見交換を実施



#### 〔主な地域重点プロジェクト〕

#### 経済

【本道の強みを活かす“自立型経済”の実現】

- 新幹線開業を契機とした戦略的域づくり推進プロジェクト(道南)
- 消費者の信頼に支えられた食産業の振興プロジェクト(釧路・根室)
- 道北観光の魅力発見・発信プロジェクト(道北)
- 「日高」ブランドの構築プロジェクト(道央)
- 地域資源を生かした新たな観光の魅力創出・発信プロジェクト(オホーツク)
- 「食の拠点」とかちプロジェクト(十勝)

#### 環境

【豊かな自然を活かす“環境先進地”づくり】

- 新エネルギー導入促進プロジェクト(道北)
- 豊かな自然を生かした後志の「環境・景観・エネルギー」づくりプロジェクト(道央)
- いぶり環境チャレンジプロジェクト(道央)
- オホーツク・エリア・アイデンティティ(オホーツクAI)推進プロジェクト(オホーツク)
- 「環境フロンティア」とかちプロジェクト(十勝)

#### 暮らし

【地域の絆と知恵を活かす“安全・安心社会”の実現】

- 安心して暮らせるまちプロジェクト(道北)
- 地域で支え合う安全・安心なまちづくりプロジェクト(道南)
- 地域で支え合う災害に強い安全・安心のまちづくりプロジェクト(釧路・根室)
- 安全安心な暮らしを支える地域づくりプロジェクト(道央)
- いしかり地域防災力強化プロジェクト(道央)

## (2) 地域意見等の反映

道民の皆様や市町村などから意見等を伺いながら、総合振興局・振興局が、地域重点プロジェクトの推進や地域課題の解決に向けて「政策提案」を取りまとめ、知事を本部長とする「北海道地域づくり推進本部」に提案し、全庁横断的な調整を行いながら、道の施策や予算への反映を図っています。

### 〔振興局からの政策提案の対応状況（主なもの）〕

テーマ	振興局の提案(要旨)	重点政策等への反映	
<p>本道の強みを活かす“自立型経済”の実現</p>	<p>食産業立国の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートアグリや道南の6次産業化に向けた支援体制の強化【渡島】</li> <li>・農村女性が活躍しやすい環境づくり【オホーツク】</li> <li>・醸造用ぶどうのブランド力の強化など地域特産農産物振興の推進【後志】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した農業技術の普及推進【農政部】</li> <li>・6次産業化ネットワーク活動の支援【農政部】</li> <li>・女性農業者が活躍できる環境づくりに向けたモデル的取組への支援【農政部】</li> </ul>	
	<p>観光王国・北海道の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワインを切り口とした地域活性化【空知】</li> <li>・「食」や「食文化」を観光資源とするフードツーリズムの推進【上川】</li> <li>・海外・道外観光客のリピーター促進と新幹線開通後の二次交通網の整備検討【釧路】</li> <li>・「カウントダウン・プログラム」の全道展開に向けた体制整備や取組の強化【石狩ほか6振興局共同提案】</li> <li>・新幹線開業に向けた地域づくりの戦略的推進【渡島・檜山共同提案】</li> <li>・高速交通ネットワークを活かした観光戦略【十勝】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワインぶどうの生産振興【農政部】</li> <li>・ワイン・フーズをテーマとするツアー人気を踏まえた食と観光の連携強化の推進【経済部】</li> <li>・「食」など地域素材の活用をテーマとした着地型旅行商品の造成に取り組むプロジェクトへの支援【経済部】</li> <li>・観光客のリピーター獲得のための市場ニーズに対応した取組の検討・推進【経済部】</li> <li>・道内外の気運醸成に向けた新幹線開業PRのプロモーション等実施【総合政策部】</li> <li>・二次交通網整備に向けた実証実験等の実施【総合政策部】</li> <li>・函館地域での道内各地のPRに関する調査を実施し情報発信のあり方等を検討【総合政策部】など</li> </ul>	
	<p>アジア・ロシア極東との交流拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際航空路線における台湾向けアウトバウンド対策の推進【上川】</li> <li>・日ロ定期航路の安定的運航に向けた取組をはじめサハリン交流の一層の推進【宗谷】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道内空港を活用した海外教育旅行の促進に向けた事業の実施【総合政策部】</li> <li>・サハリン・ロシア極東大陸部への物流拡大に向けた調査事業の実施【総合政策部】</li> </ul>	
	<p>豊かな自然を活かす“環境先進地”づくり</p>	<p>低炭素・循環型社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマスの安定供給システムの構築【上川・十勝共同提案】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における木質バイオマス利用促進に向けた取組の支援【水産林務部】</li> </ul>
		<p>自然共生社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海獣被害に対する漁業経営への支援【留萌ほか7振興局共同提案】</li> <li>・エゾシカ捕獲の担い手育成【オホーツク】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ド・オットセイ海獣被害総合対策の推進【水産林務部】</li> <li>・新規狩猟者確保強化などのエゾシカ被害対策の推進【環境生活部】</li> </ul>
	<p>地域の絆と知恵を活かす“安全・安心社会”の実現</p>	<p>アイヌ文化・縄文文化の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ文様を活用した地域振興の推進等【日高】</li> <li>・縄文文化の価値・魅力の発信拡大と縄文文化保護のための活動支援【渡島・胆振共同提案】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌの歴史や文化への理解の促進【環境生活部】</li> <li>・縄文遺跡群の情報発信、保存・継承のための世界遺産登録に向けた取組の推進【環境生活部】</li> </ul>
<p>創意と工夫を活かした地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「札幌市と道、道内市町村との連携」の取組を活用した「ねむるの食」等PR【根室】</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「札幌市と道、道内市町村との連携」を更に進めるための事業の拡充【総合政策部】</li> </ul>	

## 2 「地域づくりの拠点」としての振興局の取組

「地域づくりの拠点」である各総合振興局・振興局は、それぞれの地域の特性や実情に即して、地域課題等に対応する独自の組織体制の整備、地域の創意と主体性を活かした取組を加速する「地域づくり総合交付金」、個性ある地域づくりを推進する「振興局独自事業」、道と市町村が緊密に連携して地域振興などを推進するための職員派遣制度、また、振興局職員が市町村と連携して地域課題の解決に取り組む「地域にどんどん飛び出し隊」の派遣など、様々な地域振興施策やマンパワーを最大限に活用し、市町村や地域の方々と一体となって、地域に根ざした取組を進めています。

### ～「振興局独自事業」による地域の主な取組～

空知

- ・ワインを切り口とした食と観光による地域の活性化を促進
- ・食・観光アプリや食資源の魅力掘り起こし等により空知ファンの拡大を推進

石狩

- ・都市と農村の交流や農商工連携等の取組みを促進
- ・学生等との共同による地域の魅力発見及び観光情報を発信

後志

- ・新幹線開業に向けた食(酒と肴)を活用した広域観光の推進と交流人口の拡大
- ・特産品のブランド力向上や販路拡大に向けた相談会・交流会等を実施

胆振

- ・新幹線開業に向けた気運醸成や観光客の誘致を推進
- ・ジオパーク・縄文遺跡・アイヌ文化を地域へ定着させる取組を実施

日高

- ・コンブ漁業の生産安定化に向けた対策を実施
- ・エゾシカの捕獲促進と有効活用の拡大を図る取組を実施

渡島

- ・新幹線開業に向けた観光地域づくりや青函広域観光を推進
- ・新幹線開業に向けた産業振興や地域づくりの気運を醸成

上川

- ・台湾向けアウトバウンド対策として教育旅行セミナーやPRイベントを実施
- ・木質バイオマスの安定供給に向けた検討や関係者と連携した取組を推進

檜山

- ・新幹線開業に向けた地域の食の磨き上げや販路拡大、観光振興を実施
- ・ヒグマによる人的被害防止のための実証実験や普及啓発を実施

留萌

- ・留萌管内の資源を活用した健康産業の展開を促進
- ・バラエティ豊かな管内農作物の安定生産やブランド化等を推進

宗谷

- ・自然、離島、水産物などの地域資源を活用した魅力ある地域づくりを推進
- ・ロシア連邦サハリン州との経済・観光交流をより一層推進

オホーツク

- ・地域ブランド力向上のため「食」関連産業の総合的な振興を推進
- ・地域材の利用促進等に向け森林認証材の需要・供給可能性等調査を実施

十勝

- ・農畜水産物の付加価値向上により国際競争力のある食産業を構築
- ・管内への道外観光客の誘致及び長期滞在化を促進

釧路

- ・道東道の釧路延伸を契機に交流人口拡大に向けたプロモーション等を実施
- ・様々なエゾシカ捕獲手法を検証し「広域捕獲推進モデル」を作成

根室

- ・地域特性を活かした観光客誘致や関係者と連携した観光地づくりを推進
- ・医療系学生に対し管内への居住・勤務をPR、地域での連携体制を構築

### 3 道職員の市町村への派遣

道では、「北海道地域振興条例」の趣旨を踏まえ、市町村との連携による地域振興などを進めるため、道職員の市町村への派遣を積極的に推進しています。

従来からの「自治法派遣」や「相互交流」に加え、「地域振興派遣」や「権限移譲派遣」、「広域連携」や「徴収対策連携」など、地域ニーズを踏まえて職員派遣制度を充実し、市町村等と連携・協働した取組の強化を図っています。

- ・地域振興派遣 (平成 26 年度 22 市町村 (予定)、平成 25 年度 20 市町村)
- ・権限移譲派遣 (平成 26 年度 なし、平成 25 年度 2 市町村)
- ・広域連携派遣 (平成 26 年度 1 団体 (予定)、平成 25 年度 3 団体)
- ・徴収対策連携派遣 (平成 26 年度 1 団体 (予定)、平成 25 年度 6 団体)

### 4 多様な地域間連携の促進

#### (1) 新たな仕組みによる連携・相互補完の強化

各地域が有する自然環境、農林水産物などの様々な地域資源の効果的な活用や災害時をはじめとする各種の地域課題の解決などを図るため、より広域かつ多目的な市町村間の連携を行う「包括交流連携」や、昨年度から札幌市が積極的に実施している札幌市と道・道内市町村との連携促進に向けた取組への支援など、地域相互の連携及び相互補完を強めていく取組を進めます。

#### (2) 市町村等の広域的な取組の促進

道内市町村を取り巻く行政環境が一層厳しさを増している中、今後も住民へ多様な行政サービスを継続的に提供するためには、市町村による広域的な連携を促進していく必要があります。

このため、道では、広域連携に関する相談対応や専門的な助言、人材の派遣などを通じた支援のほか、新たに業務を共同化する市町村等へ道職員を派遣する「広域連携派遣」などを通じて、地域の主体的な取組をサポートします。

また、地域の振興・活性化に向け、地域づくり総合交付金による支援や振興局独自事業の実施により、振興局管内はもとより、振興局のエリアを越えた市町村の連携や広域的な取組を支援します。

#### (3) 東日本大震災被災地等との連携の促進

東日本大震災の発生から約 3 年が経過しているが、本道には、依然として約 2,700 名の方々が避難されています。避難生活のさらなる長期化も予想されることから、避難されている方々が、自立と生活再建に向けた検討を進めていくことができるよう、交流の場づくりや情報提供、戸別訪問による見守り事業等を行うなど、道内市町村や支援団体などと連携を図りながら、引き続き支援の取組を進めます。

#### (4) 青函圏交流をはじめとした東北との多様な連携の強化

道と青森県の行政や民間団体等で構成する「青函圏交流・連携推進会議」が平成 23 年に策定した「青函圏交流・連携ビジョン」に基づき、道南地域と青森県との交流・連携の促進を図るとともに、平成 27 年度末予定の北海道新幹線開業を見据え、本道と東北の観光資源を有効活用した「北日本広域観光ルート」の形成や縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組など、東北地域と一体となった地域活性化を図ります。